

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス川崎田島		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 8日		2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの広さと、それを活かした空間づくり。	月間活動の取り組みやイベントを通信やブログで定期的に発信している。	定期的な発信に加えて、毎日の様子をアプリを使って写真という形で発信している。
2	こどもの特性やペースに合わせた支援を行っていること。	支援計画を作成する上で、こどもと保護者の必要としていることを聞き、達成するために必要な支援をスモールステップで行うようにしていること。	20種類の運動プログラムを日替わりで行うことで変化をつけている。
3	こどもが通所を楽しみにしてくれていること。	避難訓練を毎月行っており、非常時に備えている。	こどもの行動で成長がみられた箇所やよかった部分を積極的に見つけ、終礼で共有している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	夏休みなどの長期休暇のとき、平日も特別プログラムを組んだりしているが、その発信をしてこなかったこと。	発信をしなくてもパターン通りに来所していただいていたため。	長期休暇の特別プログラムを前もって発信する。
2	面談を定期的に行っているが、顔を合わせてのお話しがあまりできていない。	面談の曜日や時間の設定が厳しかったため。	保護者様の都合のつく日取りを聞き出して設定する。
3	ご利用者様の年齢が上がってきており、レベルを分けるようなプログラムを行うことが難しい。	容易にできてしまう場合に、プログラムの内容に変化がつけられていない。	同じプログラムであっても、変化をつけることで様々な年代で楽しく行えるようにする。